



## 2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月3日

上場会社名 株式会社東陽テクニカ 上場取引所 東  
 コード番号 8151 URL <https://www.toyo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 五味 勝  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 十時 崇蔵 (TEL) 03-3279-0771  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年9月期第1四半期の連結業績(2019年10月1日~2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	4,378	△13.7	△327	—	△281	—	△40	—
2019年9月期第1四半期	5,075	22.2	71	—	26	—	26	—

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 28百万円(—%) 2019年9月期第1四半期 △447百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	△1.66	—
2019年9月期第1四半期	1.07	1.06

(注) 2020年9月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	33,321	29,426	87.9
2019年9月期	34,557	29,907	86.1

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 29,279百万円 2019年9月期 29,764百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	12.00	—	21.00	33.00
2020年9月期	—	—	—	—	—
2020年9月期(予想)	—	14.00	—	24.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日~2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,600	0.2	1,900	2.1	2,000	7.2	1,400	22.6	57.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期1Q	26,085,000株	2019年9月期	26,085,000株
② 期末自己株式数	2020年9月期1Q	1,598,638株	2019年9月期	1,599,408株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期1Q	24,485,701株	2019年9月期1Q	24,725,664株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは“はかる”技術を基本としたビジネスコンセプトを継続しながら、研究開発市場に傾注してまいりました。そして国内産業の次なる成長の糧となる“新しい技術・製品の開発”の一翼を担うべく、欧米を中心とした先端計測技術・機器の導入と、ソフトウェアを中心とした自社システム製品の増強に力を入れてまいりました。また、中国を中心としたアジア市場に加え、米国市場にも目を向け、当社製品のユーザー開拓にも注力してまいりました。

この結果、連結売上高は43億7千8百万円（前年同四半期比13.7%減）となり、この内、国内取引高は41億4千6百万円、中国や米国向けを中心とした海外取引高は2億3千1百万円となりました。

利益面では、営業損失3億2千7百万円（前年同四半期は7千1百万円の営業利益）、経常損失2億8千1百万円（前年同四半期は2千6百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は4千万円（前年同四半期は2千6百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりです。

## (情報通信／情報セキュリティ)

情報通信におきましては、国内通信事業者などへ、5G（第5世代移動通信システム）や高速イーサネットに対応したネットワーク性能試験装置、および自社製品SYNESISの販売が堅調に推移し、売上は増加しました。しかし、競合との価格競争や仕入れコスト上昇により営業利益は減少しました。情報セキュリティにおきましては、2020東京五輪イヤーを迎え顧客ニーズの高まりにより受注、売上とも増加しました。しかし、現在も新商品開発・マーケティングの経費が先行している状況です。この結果、売上高は10億6千万円（前年同四半期比10.7%増）、営業損失は1億6千4百万円（前年同四半期は1億1千5百万円の営業損失）となりました。

## (機械制御／振動騒音)

機械制御／振動騒音におきましては、自動車会社の投資が自動運転車開発と電動化開発にシフトし、振動・騒音などの従来の研究開発分野への投資が縮小しております。この状況に対応するため、自動運転車開発関連製品や生産設備用センサの拡販に取り組んでいます。しかし、従来の研究開発分野における落ち込みをカバーするまでには至りませんでした。また、米国においては国家研究機関より自動運転車開発関連の大型システムを受注しておりますが、売上計上は第2四半期以降を見込んでいます。この結果、売上高は10億8千9百万円（前年同四半期比26.6%減）、営業利益は8千8百万円（前年同四半期比60.6%減）となりました。

## (物性／エネルギー)

物性／エネルギーにおきましては、自動車向け次世代電池やパワーエレクトロニクスの評価システムの市場が引き続き堅調でした。さらに、電池の基礎研究分野向け自社開発システムの販売も好調を維持しています。しかし、一部の大型受注で納入遅れが出たことや、電源ビジネスの方針見直しにより、売上は減少しました。また、新規ビジネス立ち上げの先行投資により、経費が増加しました。この結果、売上高は6億4千万円（前年同四半期比36.3%減）、営業損失は1億3百万円（前年同四半期は1億2千6百万円の営業利益）となりました。

## (EMC／大型アンテナ)

EMCにおきましては、主要顧客である国内外の自動車関連の受注が継続して堅調であり、大型システムの一部で納入遅れが出ていますが、売上は大幅に増加しました。大型アンテナにおきましても、人工衛星観測システムの追加注文があるなど受注は堅調ですが、納期が長いと、売上は来期以降を見込んでいます。この結果、売上高は8億7千9百万円（前年同四半期比33.8%増）、営業利益は4千2百万円（前年同四半期は4千7百万円の営業損失）となりました。

## (海洋／特機)

海洋／特機におきましては、引き続き防衛関連の引き合いが増加しており、市場は堅調です。受注は、ほぼ計画どおり推移しておりますが、第2四半期以降に納入を見込んでいる案件が多く、売上は減少しました。この結果、売上高は2億2千8百万円（前年同四半期比38.1%減）、営業損失は2千6百万円（前年同四半期は6千5百万円の営業利益）となりました。

## (ソフトウェア開発支援)

ソフトウェア開発支援におきましては、自動車業界向けの静的解析ツールや、ゲーム業界向けの構成管理ツールの販売は堅調に推移していますが、エンタープライズ向けのセキュリティ脆弱性検査ツールの販売は低調でした。この結果、売上高は2億6千3百万円（前年同四半期比4.0%増）、営業損失は1百万円（前年同四半期は2千2百万円の営業利益）となりました。

## (ライフサイエンス／マテリアルズ)

ライフサイエンス／マテリアルズにおきましては、医療機関向けの3D対応画像診断システムや医療機器メーカー向けOEM製品の販売が堅調に推移しました。また、立ち上げ中の新しい電子顕微鏡ビジネスは引き合いが増加しており、第2四半期以降に素材開発業界からの受注を見込んでいますが、従来のビジネスの落ち込み分をカバーする売上を計上するには至りませんでした。この結果、売上高は2億1千4百万円（前年同四半期比38.4%減）、営業損失は6千4百万円（前年同四半期は1千9百万円の営業損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ12億3千6百万円減少し、333億2千1百万円となりました。主な増加要因は、商品及び製品の増加3億9千7百万円によるものです。一方、主な減少要因は、受取手形及び売掛金の減少5億2千8百万円、有価証券の減少5億6千8百万円、投資有価証券の減少4億6千9百万円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ7億5千5百万円減少し、38億9千5百万円となりました。主な増加要因は、流動負債のその他の増加7億3千5百万円によるものです。一方、主な減少要因は、支払手形及び買掛金の減少3億6百万円、未払法人税等の減少5億4千6百万円、賞与引当金の減少5億9千1百万円等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4億8千円減少し、294億2千6百万円となりました。主な増加要因は、繰延ヘッジ損益の増加4千7百万円によるものです。一方、主な減少要因は、利益剰余金の減少5億5千5百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の連結業績予想につきましては、2019年11月5日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,914,846	3,071,824
受取手形及び売掛金	4,245,941	3,717,597
有価証券	4,163,519	3,594,734
商品及び製品	2,100,617	2,498,436
その他	768,674	632,545
貸倒引当金	△500	△500
流動資産合計	14,193,098	13,514,639
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,974,709	4,991,298
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,836,130	△2,858,610
建物及び構築物(純額)	2,138,578	2,132,688
車両運搬具	52,573	52,573
減価償却累計額	△39,277	△40,392
車両運搬具(純額)	13,296	12,180
工具、器具及び備品	3,698,684	3,653,806
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,883,779	△2,842,470
工具、器具及び備品(純額)	814,904	811,335
土地	5,607,940	5,607,940
有形固定資産合計	8,574,720	8,564,145
無形固定資産		
のれん	132,197	129,261
ソフトウェア	994,902	914,781
ソフトウェア仮勘定	69,488	121,185
その他	15,247	15,177
無形固定資産合計	1,211,835	1,180,405
投資その他の資産		
投資有価証券	8,156,456	7,687,433
退職給付に係る資産	533,587	536,959
繰延税金資産	604,695	558,811
長期預金	700,000	700,000
その他	699,811	694,983
貸倒引当金	△116,375	△115,565
投資その他の資産合計	10,578,175	10,062,621
固定資産合計	20,364,731	19,807,172
資産合計	34,557,830	33,321,811

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,394,479	1,087,872
未払法人税等	572,454	26,291
賞与引当金	871,511	280,000
役員賞与引当金	83,000	20,750
その他	1,011,169	1,746,855
流動負債合計	3,932,614	3,161,769
固定負債		
退職給付に係る負債	631,715	643,856
その他	86,400	89,402
固定負債合計	718,116	733,259
負債合計	4,650,730	3,895,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,158,000	4,158,000
資本剰余金	4,603,500	4,603,500
利益剰余金	22,115,264	21,559,424
自己株式	△1,722,992	△1,722,197
株主資本合計	29,153,771	28,598,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	657,189	677,273
繰延ヘッジ損益	17,117	64,607
為替換算調整勘定	△62,367	△60,679
退職給付に係る調整累計額	△913	△684
その他の包括利益累計額合計	611,026	680,515
新株予約権	142,301	147,539
純資産合計	29,907,099	29,426,782
負債純資産合計	34,557,830	33,321,811

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)
売上高	5,075,862	4,378,022
売上原価	2,821,624	2,501,672
売上総利益	2,254,238	1,876,349
販売費及び一般管理費	2,182,307	2,204,326
営業利益又は営業損失(△)	71,931	△327,977
営業外収益		
受取利息	4,129	5,892
受取配当金	24,192	26,862
有価証券売却益	2,450	—
為替差益	998	25,559
その他	19,960	12,844
営業外収益合計	51,732	71,159
営業外費用		
支払利息	533	1,107
和解金	55,947	—
持分法による投資損失	40,305	23,566
その他	21	—
営業外費用合計	96,808	24,674
経常利益又は経常損失(△)	26,854	△281,492
特別利益		
固定資産売却益	—	1,424
投資有価証券売却益	57,954	262,720
特別利益合計	57,954	264,145
特別損失		
固定資産処分損	145	4,258
特別損失合計	145	4,258
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	84,663	△21,605
法人税、住民税及び事業税	3,000	3,000
法人税等調整額	55,140	15,960
法人税等合計	58,140	18,960
四半期純利益又は四半期純損失(△)	26,523	△40,566
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	26,523	△40,566

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	26,523	△40,566
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△442,234	20,083
繰延ヘッジ損益	△28,401	47,489
為替換算調整勘定	△8,015	825
退職給付に係る調整額	1,695	228
持分法適用会社に対する持分相当額	2,747	862
その他の包括利益合計	△474,207	69,489
四半期包括利益	△447,684	28,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△447,684	28,923
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	情報通信/ 情報セキュリティ	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ	海洋/特機
売上高	958,114	1,483,842	1,005,458	657,671	368,687
セグメント利益又は 損失(△)	△115,640	225,525	126,312	△47,565	65,446

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア 開発支援	ライフサイエンス/ マテリアルズ	
売上高	253,596	348,492	5,075,862
セグメント利益又は 損失(△)	22,253	△19,030	257,301

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	257,301
全社費用(注)	△185,370
四半期連結損益計算書の営業利益	71,931

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用です。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	情報通信/ 情報セキュリティ	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ	海洋/特機
売上高	1,060,950	1,089,729	640,915	879,801	228,121
セグメント利益又は 損失(△)	△164,322	88,780	△103,502	42,394	△26,492

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ソフトウェア 開発支援	ライフサイエンス/ マテリアルズ	
売上高	263,776	214,727	4,378,022
セグメント利益又は 損失(△)	△1,735	△64,624	△229,501

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△229,501
全社費用(注)	△98,475
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△327,977

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用です。